

# 令和6年度愛媛県人権・同和教育研究大会

愛媛県教育委員会と愛媛県人権教育協議会は、人権課題が多岐にわたる現代社会において、部落差別の現状とこれまでの人権・同和教育の取組を見つめ直し、今後の展望を見据えながら、部落差別をはじめ、あらゆる差別のない社会の実現に向けて取り組むために、標記研究大会を開催いたしました。今年度は、「差別の現実から深く学ぶ」ことを基本理念とした県内各地の研究と教育実践の交流を通して、学校、家庭、地域との連携を図りながら、互いの成果に学び合うことを目的として行われ、県民一人ひとりの人権意識の高揚につなげることができました。

## 【開催日】

2024年11月12日(火)

## 【全体会】

午前中、愛媛県県民文化会館メインホールで行われた全体会には、約1,700人が参加しました。

### ○ 開会行事

米田孝弘県人教会長代行による「開会のことば」で始まり、高岡哲也教育長の挨拶の後、中村時広知事から祝辞をいただきました。

また、県人権・同和教育推進功労者として、橋本広綱氏(久万高原町)と眞鍋慶子氏(新居浜市)が知事表彰されました。



### ○ 動画上映

部落差別解消をめざす動画作品として、松野町あおぞら子ども会の「鹿と共に」が上映されました。動画では、子どもたちが、地域の方々への聞き取りや様々な体験活動を通して、食肉・皮革産業が私たちの生活に必要なこと、この技術や文化を残し活かしていかなければならないことに気付いていきました。あおぞら子ども会の取組や熱い思いが様々な視点で映像化されていました。

## 【分科会】

午後は、松山市内6会場(にぎたつ会館、エスポワール愛媛文教会館、愛媛県男女共同参画センター、愛媛県県民文化会館真珠の間、メインホール、サブホール)で、分科会が行われ、参加者は、部落差別の解消や人権課題の解決に向けて熱心に協議しました。

